

Ⅱ 集計結果

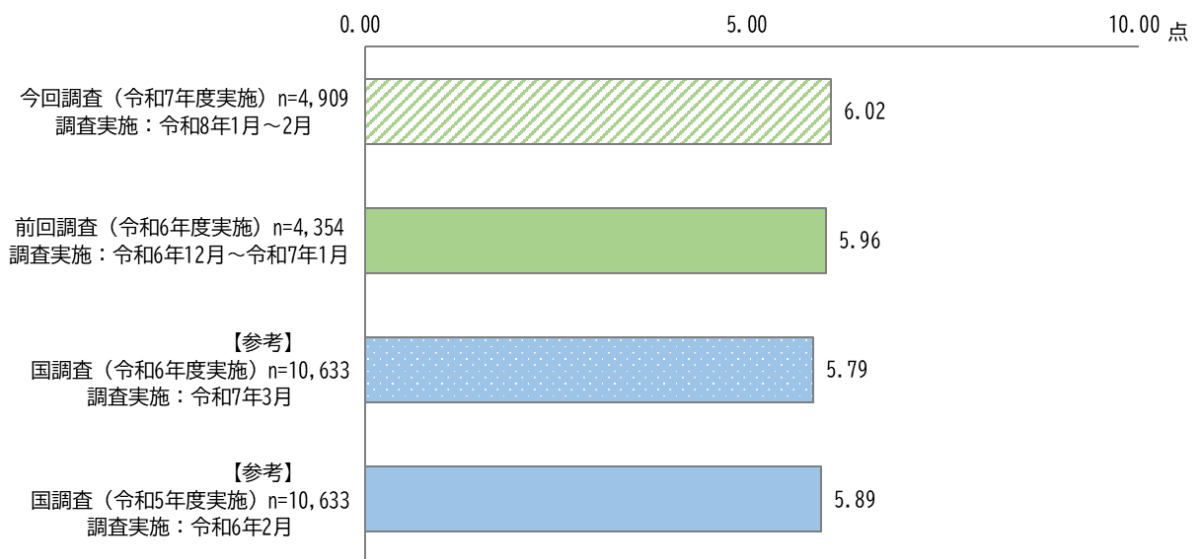
Ⅰ. 生活の満足度

問Ⅰ あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。
「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、
何点くらいになると思いますか。

➤ 生活の満足度

- 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10点満点で質問したところ、平均値は6.02点で、前回調査より0.06点高くなっています。

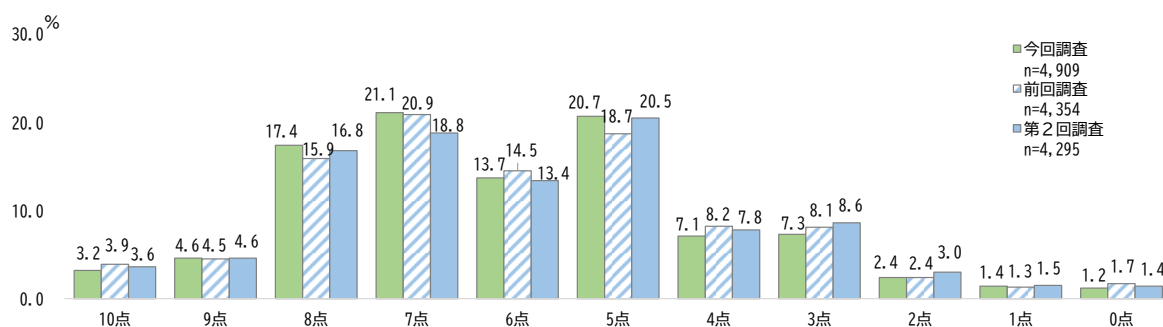
図表 2-1-1 生活の満足度の平均値（国調査及び前回調査との比較）



※国調査は、総合的な主観的満足度及び分野別満足度を調査し、客観指標との関係性を明らかにすることを目的に平成31年から実施。約10,000人へのインターネット調査（うち5,200人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「7点」の割合が21.1%と最も高く、次いで「5点」が20.7%、「8点」が17.4%となっており、M字型となっています。前回調査と比較して、「5点」「8点」の割合が上昇し、「4点」や「3点」の割合が低下しています。

図表 2-1-2 生活の満足度の分布（前回調査との比較）



➤ 生活の満足度（属性別特徴）

- 性別で見ると、女性が6.08点で男性の5.96点より0.12点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は0.09点、女性は0.03点高くなっています。
- 年齢別で見ると、18歳から20歳代が6.29点で最も高く、次いで30歳代（6.20点）、50歳代（6.16点）の順となっています。前回調査と比較すると、30～50歳代では0.2点以上高く、60歳代では0.13点低くなっています。
- 配偶関係別で見ると、有配偶が6.18点で最も高く、次いで未婚（5.84点）、死別・離別（5.54点）の順となっています。前回調査と比較すると、未婚では0.30点高くなっています。
- 世帯類型別で見ると、一世代世帯が6.20点で最も高く、次いで三世代世帯（6.15点）、その他（6.06点）の順となっています。前回調査と比較すると、その他では2.31点、単身世帯では0.17点高くなっています。その他の世帯類型でも、0.1点未満ながら、前回調査よりは高くなっています。
- 主な職業別で見ると、学生が7.14点で最も高く、次いで正規職員（6.35点）、専業主婦・主夫（6.18点）の順となっています。前回調査と比較すると、正規職員で0.31点、その他の職業で0.21点高くなっている一方、農林水産業では0.32点低くなっています。
- 共働きで見ると、「している」が6.30点で、「していない」の5.89点より0.41点高くなっています。前回調査と比較すると、「している」で0.17点、「していない」で0.04点高くなっています。

- 世帯収入別で見ると、年収が高くなるほど得点も高い傾向で、世帯収入 1,000 万円以上が 7.18 点で最も高く、次いで 800 万円以上～1,000 万円未満 (6.62 点)、600 万円以上～800 万円未満 (6.38 点) の順となっています。前回調査と比較すると、300 万円以上～400 万円未満と 400 万円以上～500 万円未満で 0.40 点高くなっているのを筆頭に、年収 200 万円以上では、いずれの年収帯でも前回調査より高くなっています。
- 地域別で見ると、中南勢地域が 6.06 点で最も高く、次いで北勢地域 (6.05 点)、伊勢志摩地域 (5.99 点) の順となっています。前回調査と比較すると、中南勢地域で 0.11 点、北勢地域で 0.09 点高く、伊賀地域で 0.09 点低くなっています。

図表 2-1-3 生活の満足度の平均値（属性別）

